

Society5.0 実現化研究拠点支援事業

応募申請様式

基本情報

※e-Rad 提出時には例示・注釈文(青字)は全て削除してください。

研究課題名 (英語表記)			
研究種目等			
研究期間	2018年10月1日～●●年3月31日(●年6ヶ月)		
分野			
分科			
細目			
細目表 キーワード			
細目表以外の キーワード			
代表機関名			
住所	〒		
統括責任者 氏名	(フリガナ)		
	(漢字等)		
職名	学長		
研究開発課題 責任者氏名	(フリガナ)		
	(漢字等)		
電話番号		FAX	
E-mail			
部署名			
職名			
経理事務 担当者氏名		経理担当部局 名・連絡先等	電話番号: FAX 番号: E-mail アドレス:
協力機関名			
住所	〒		
研究開発課題 責任者氏名	(フリガナ)		
	(漢字等)		
電話番号		FAX	
E-mail			
部署名			

職名			
経理事務 担当者氏名		経理担当部局 名・連絡先等	電話番号： FAX 番号： E-mail アドレス：

協力機関の数に合わせて記載欄を調整してください。記載しているすべての協力機関について本提案に関する事前了解は必要ありませんが、「調整中」などの状況について明記してください。

Society5.0 実現化研究拠点構想

1. ビジョン及び具体的なターゲット

(1) 現状認識

提案内容に関係する現在の社会状況を分析し、記述してください。

(2) ビジョン

(1)を踏まえて、Society5.0 の一部として、どのような社会像(ビジョン)の実現を目指すのか、またそのビジョンの革新性について記述してください。

(3) ターゲット・アプローチ

(2)の実現のために、本事業で達成すべき具体的な目標(ターゲット)及びそのターゲットに向けた具体的なアプローチを記述してください。(ターゲットについては複数でも構いません。実現可能性の高いものと挑戦的なものをバランスよく記述してください。)

(4) インパクト

(2)を実現することによって、どのような社会的・経済的な波及効果(インパクト)をもたらすのかについて、説明してください。

2. 実施計画

(1) 具体的な実施内容

以下の項目について、本事業での実施内容を具体的に記述してください。

i. 体制構築

○ 拠点体制図

代表機関、協力機関を含む拠点体制を図で示してください。

図の作成にあたっては、機関名、統括責任者(代表機関のみ)、各機関の研究開発課題責任者とともに、主な研究開発参加者(少なくとも、各機関1名)も記述してください。

○ 代表機関内における体制構築

代表機関において、学長等のリーダーシップにより組織全体としてのマネジメントを発揮できる体制の構築の方策を具体的に記述してください。

○ 体制の持続性

本事業で構築した体制を事業終了後も継続させるための方策について記述してください。

○ 参加者リスト

統括責任者、各機関の研究開発課題責任者及び主な研究開発参加者について、以下のリストに記述してください。

区分	所属機関名				
氏名	部署、役職	専門分野	本研究開発での役割分担	エフォート	研究開発実施場所
代表機関	●●大学				
○○ ○○	学長		統括責任者	○%	●●大学
○○ ○○	●●研究科●● 専攻 教授		研究開発課題 責任者	○%	●●大学
○○ ○○	××学部 教授			○%	●●大学
協力機関	□□株式会社				
○○ ○○	研究開発部長		研究開発課題 責任者	○%	○○会社 ○○センター
○○ ○○	研究開発部 主 任研究員			○%	○○会社 ○○センター
○○ ○○	研究開発部 研 究員			○%	○○会社 ○○センター
協力機関	○○大学				
○○ ○○	○○研究科○○ 専攻 教授		研究開発課題 責任者	○%	○○大学
○○ ○○	△△研究科△△ 専攻 准教授			○%	○○大学
協力機関	××市				
○○ ○○	××部 部長		研究開発課題 責任者	○%	××市
○○ ○○	××部××課 課長			○%	××市
○○ ○○	××部××課 係長			○%	××市

エフォートは、総合科学技術会議におけるエフォートの定義「研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率(%)」に従い記述してください。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育・医療活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。

		機関	年度	年度	年度	年度	年度
i-① ●●●	2. (1)具体的な実施内容に記述したプロジェクト終了時に達成すべき目標の内容を簡潔に記載してください。		●	◆MS1			
i-② ●●●			●		◆MS2		
ii-① ●●●			●		◆MS3		
ii-② ●●●			●	◆MS4		◆MS5	

マイルストーン(MS1、MS2、MS3、・・・)

- ・MS とは「これが達成できないと次へ進めない」、「次へ進むべきではない」進捗の達成目標とします。
- ・実施内容毎に1箇所以上は設定してください。
- ・課題別に時系列順でMS1、MS2、MS3、・・・としてください。
- ・実施内容間に、技術の相互利用などがある場合は、マイルストーンを他の実施内容に関連付けて記載して下さい。

ii. マイルストーンの内容

実施内容 項番	MS 項番	達成時期	内容	MS 達成を判断する KPI
i-①	MS1	H29 3Q		
	MS2	H30 2Q		
	MS3	H30 2Q		
	MS4	H29 4Q		
	MS5	H31 2Q		
...	...			

時期は四半期程度の目安としてください。

進捗状況、国内外の動向に応じて変更することは可能とします。

3. 資金計画

(1) 各年度別経費内訳

[単位:千円]

費目		種別	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	合計
直接 経費	設備備品費							
	人件費							
	事業実施費	研究開発 委託費						
		その他						
直接経費 合計(a)								
間接経費(b) (上記経費の 30%)								
経費合計(a + b)								

○各費目の主な内訳(名称・件名、概算価格、執行・調達予定時期) **上記経費の主な内訳を記述してください。**

(2) 機関別資金計画

[単位:千円]

内容 \ 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	合計
〇〇大学						
(株)□□						
...						
合計						

必要に応じて行を増減してください。

各機関の経費は、直接経費と間接経費の合計としてください。

(3) 産学官等における負担

上記計画を踏まえつつ、本事業開始後 5 年度目に補助金額と同規模以上の負担を、どのようにして産学官等の関係機関から確保するのか、具体的な計画について記述してください。

4. 事業の持続に向けた取組

本事業終了後、イノベーションを創出する基盤としてどのように拠点を発展させていくのか、具体的な計画について記述してください。

他事業の受入・応募等の状況・エフォート

参加者リストに記載されている方が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国又は独立行政法人（国立研究開発法人含む。）の競争的資金制度やその他の研究助成等制度での助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究経費の額、エフォート等を記述してください。

記述内容について事実と異なる記載をした場合には、採択された後であっても取消し又は減額配分とすることがあります。

(1) 受入中・受入予定の研究経費

資金制度・研究経費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	2018 年度の 研究経費 (期間全体の額) [千円]	エフォート [%]	研究内容の相違点及び 他の研究経費に加えて本応募 研究課題に応募する理由
			()		(総額 千円)
			()		(総額 千円)

(2) 応募中・応募予定の研究経費

資金制度・研究経費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割 (代表・分担の別)	2018 年度の 研究経費 (期間全体の額) [千円]	エフォート [%]	研究内容の相違点及び 他の研究経費に加えて本応募 研究課題に応募する理由
			()		(総額 千円)
			()		(総額 千円)

(3) その他の活動 エフォート: %

特殊用語等の説明

用語	説明
	本応募申請書類で使用している業界用語、専門用語及び略語等の特殊用語のうち、本事業での実施内容を総合的に把握するうえで必要と思われるものについて、簡単な解説をわかりやすく記述してください。